

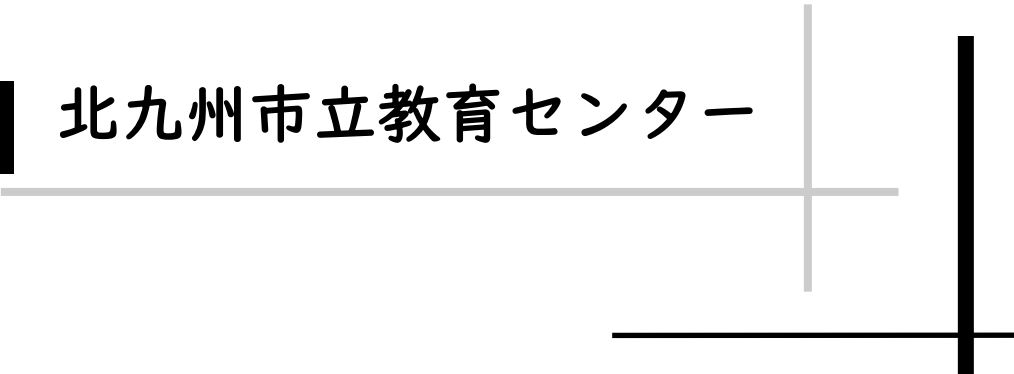
令和7年度

研修ノート

新採幼稚園教諭



北九州市立教育センター



北九州市民憲章

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします
きまりを守り 安全なまちにします
人を大切に し ふれあいの輪をひろげます
元気で働き 明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

北九州市教育大綱

～「こどもまんなか」で、質の高い教育環境の充実を～

- 1 全てのこどもにとって、
「居心地のよい学校」をつくります。
- 2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、
志と人間力を高められる環境をつくります。
- 3 誰一人取り残さない学びと、
未来を見据えた先端的な学びを進めます。
- 4 自律的で特色のある学校づくりを進め、
教職員のウェルビーイングを高めます。
- 5 地域とのつながりの中で、
社会全体でこどもを見守り支え、育てます。

北九州市子どもを育てる１０か条

- 朝は明るく笑顔で「おはよう」
- 家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」
- 子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる
- 聞く時は 子どもの目を見て 心を聴いて
- 食事が楽しい家庭にしよう
- 大切にしたい 物より体験
- まず親が きちんと実行 社会のルール
- 声かけて 地域の宝 子どもたち
- 教えよう 平和といのちと助け合い
- 子どもと夢を語り合おう

目 次

幼稚園教育について.....	2
教育センター研修受講に当たって.....	5
リモート研修マニュアル概要版（私立幼稚園教諭用）.....	6
新採幼稚園教諭 研修一覧.....	8
研修を受講して.....	10
学級経営案.....	13
幼稚園讃歌.....	14
教育センターへのアクセス.....	15

幼稚園教育について

I 幼稚園教育の目的 <学校教育法 第22条>

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

II 幼稚園教育の内容 <幼稚園教育要領 第1章 総則>

第1 幼稚園教育の基本

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

このため教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。これらを踏まえ、次に示す事項を重視して教育を行わなければならない。

- 1 幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。
- 2 幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として第2章に示すねらいが総合的に達成されるようにすること。
- 3 幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。

その際、教師は、幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の行動の理解と予想に基づき、計画的に環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものの関わりが重要であることを踏まえ、教材を工夫し、物的・空間的環境を構成しなければならない。また、幼児一人一人の活動の場面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない。

第2 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

- 1 幼稚園においては、生きる力の基礎を育むため、この章の第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえ、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。

- (1) 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」

- (2) 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- (3) 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」
- 2 1に示す資質・能力は、第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体によって育むものである。
- 3 次に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものである。

(1) 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

(2) 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

(3) 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

(5) 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

(6) 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

(7) 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

(9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

Ⅲ 幼児教育に関する資料の活用

「幼稚園教育要領」を基に「北九州スタンダードカリキュラム 幼稚園」「北九州市版幼児教育・保幼小接続カリキュラム」（平成30年発行）の他、以下の参考資料を活用し研修の充実を図る。

＜参考となる資料や教材＞

- ・ 幼稚園教育要領解説
- ・ 幼児理解に基づいた評価
- ・ 幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開
- ・ 指導と評価に生かす記録
- ・ 新1年生 学校生活スタートブック「なかよし」（改訂版）
- ・ 幼稚園からのメッセージ＜DVD＞～幼稚園で学ぶこと・はぐくまれること～
- ・ 小学校からのメッセージ＜DVD＞～幼児期から児童期へとつながる学び～
- ・ 北九州市 保幼小連携プログラム「つながる」

教育センター研修受講に当たって

◇ 研修の目的

教職への自覚と使命感を高め、幼稚園教諭としての基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、実践的指導力を培う。

◇ 研修に参加するときの心構え

研修前には研修内容をより深く理解できるよう、事前に専門図書を読んだり、研修後にその内容について先輩教諭の指導を受けたりすることを通して実践的指導力を高めるようにする。なお、研修中は積極的に他の受講者と交わり、自らの経験や所属園の様子を想起しながら、講話、協議や演習を通して、所属園でのよりよい実践につながる気付きを得ようとする。

Ⅰ 出席・欠席及び、遅刻等について

- (1) 8ページの「令和7年度新採幼稚園教諭研修一覧」で研修の日時及び会場を確認し、研修日の幼児への手だてを十分に講じて研修を受講すること。研修受講の際は、その旨を園長に伝えてから研修会場に来ること。また、遅くとも10分前には研修会場に到着するように心掛けること。

なお、リモート研修の際にも、遅くとも研修開始の10分前には入室できるように事前の準備を整えておくこと。

- (2) 集合型研修については、名札、研修ノート、QRコードを読み取ることができるスマートフォンもしくはタブレットを必ず持参すること。(名札は幼稚園で使用しているものでよい。)
- (3) やむを得ない理由で欠席や遅刻をする場合は、園長が事前に欠席届等を「各種申請フォーム」から申請すること。当日申請する場合は、「各種申請フォーム」での申請と併せて教育センターに電話連絡も行うこと。急遽、遅刻や早退をした場合は、研修後に申請すること。

※ 従来のFAXでの欠席届等の受付を終了する。令和7年度より教育センターホームページの「幼稚園研修」のページに掲載している「各種申請フォーム(私立幼稚園用)」のアドレスをクリックしてから必要項目を入力・送信する。

2 研修に当たっての服装・態度等について

- (1) 研修にふさわしい態度や服装を心がけること。(リモート研修の場合も同様)
- (2) 研修中は、原則として面会や電話の取り次ぎはせず、携帯電話等はマナーモードにすること。
- (3) 研修室での食事はできない。必要な場合は、場所を指示する。

3 その他

- (1) 研修終了後は、本研修ノートに学んだことや自己の課題等を記入し、園長に提出するとともに、研修についての報告(研修の復命)をし、指導を受けて園長印をもらうこと。
- (2) 教育センター周辺の道路は、全て駐車禁止。できるだけ公共交通機関で来所すること。
- (3) リモート研修における受講方法については、「リモート研修マニュアル概要版」(p.6～p.7)を確認すること。

リモート研修マニュアル（私立幼稚園教諭用）

- ★ リモート研修は、Teams（チームズ）を用いて実施します。
- ★ 接続方法等の詳細については、別途お知らせします。

1 研修受講の準備について

- ◆ 研修日の3日前までに、北九州市私立幼稚園連盟ホームページからリンクしている福岡県私立幼稚園振興協会（F Y S K）会員ページにアクセスし、受講する研修の資料を開いて、リモート研修の接続先（URLまたはQRコード）を確認してください。

※ F Y S K会員ページへのアクセスには、園名とパスワードでのログインが必要です。パスワードは、所属園の園長先生におたずねください。

※ Teams アプリを事前にパソコン等へダウンロードしておくと、より多くの機能が使えます。

- ◆ 事前にF Y S K会員ページから研修資料(研修要項、育成指標、通知文、講師研修資料、事前課題等)をダウンロードし、プリントアウトしておいてください。

◆ 準備物について

- パソコンまたはタブレット ○ 研修資料 ○ 筆記用具
- 画用紙や小さいホワイトボード等 ○ 太字のペン等 ○ （マイク付きイヤホン）
- （QRコードを読み取ることができるスマートフォンもしくはタブレット）

※ マイク付きイヤホンを使用すると音声聞き取りやすくなり、快適に受講できます。
他の受講者にも音声がよく届きます。

2 研修当日の研修環境について

- ◆ 所属園で受講してください。
- ◆ 研修を受講するのにふさわしい服装で受講してください。
- ◆ 研修の受講前と終了後には、必ず園長先生にその旨を報告してください。
- ◆ 研修に専念できるように、Wi-Fi環境が整った静かな部屋に移動し、受講してください。
- ◆ 部屋の外に、研修中と分かるような表示をしてください。

（例）



「〇〇研修」
〇時～〇時まで
お静かにお願いします。

研修で使用する部屋の入口
に表示してください。

- ◆ 第三者や個人情報が映り込まないように、十分留意してください。
- ◆ 携帯電話は、電波干渉が発生するため、電源を切るか機内モードに設定してください。
- ◆ 同室で複数の受講者が各々の端末を使用して受講する場合、グループ協議の際に同室の他者の音声混じって届いてしまいます。それによって、グループ内の他の園や学校から参加している受講者が聞き取りづらくなります。できるだけ別室で受講してください。

3 受講前について

- ◆ 研修時間30分前から接続することができます。
- ※ 開始10分前までには接続してください。
- ◆ 出席確認のために、名前を園名と自分の名前に変更してください。複数の受講者で1台の端末を使用する際は、園名の後に、全員の名前を表示してください。
- ◆ タブレットや通信に不具合等が発生して接続できない場合は、研修開始時刻までに園長に伝えた上で、教育センター（Tel 6 4 1 - 1 7 7 5）へご連絡ください。研修の途中で接続不良が起きて長時間研修に参加できなくなった場合も同様です。

4 受講中について

- ◆ 音声が聞こえづらいときは、タブレットのボリュームを確認してください。
- ◆ カメラは、オンにしてください。
- ◆ マイクは、自分が話すとき以外はミュートにしてください。
- ◆ 通信状況が悪い場合は、カメラをオフにするようお願いすることがあります。
- ◆ 研修の録音・録画・スクリーンショット等は禁止です。

5 終了後について

- ◆ 研修の振り返りを、F Y S K会員ページからダウンロードした通知文に示される、振り返り用URLまたはQRコードにアクセスして回答してください。各研修要項に掲載のQRコードから回答することもできます。
- ◆ 研修の振り返りの入力と送信は、原則として受講終了後、当日中に行うようにしてください。
- ◆ 研修は、下記3点をもって受講済となります。

- ★ 園名と名前を表示し、研修に参加したことによる出席確認
- ★ 振り返りの回答の入力と送信
- ★ （事前・事後の課題等がある研修の場合は）課題等の提出

令和7年度 新採幼稚園教諭 研修一覧

No.	日時・会場 研修No.	テーマと研修概要	講師等	備考	研修内容 紹介
1	4月8日(火) 14:30～17:00 (教育センター) 研修No.106B1	基礎的素養 - 幼児教育の基本 教師の援助と役割 - ○ 講話と意見交流 「幼児教育の基本 教師の援助と役割」 人権教育 - 幼児教育における人権教育の在り方 - ○ 講話と意見交流 「幼児教育における人権教育の在り方」	幼児教育センター 指導主事等 生徒指導課指導主事	持参物 研修ノート、 名札、QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレット	【基礎的素養】 教師の自覚と使命感を高め、教師の援助と役割について学びます。 【人権教育】 教師として確かな人権感覚を身に付けることの大切さを自覚します。
2	5月15日(木) 15:00～17:00 (教育センター) 研修No.106A1	言葉 - 絵本の世界に浸る体験を重視した 絵本の読み聞かせ - ○ 講話と演習 「絵本の世界に浸る体験を重視した 絵本の読み聞かせ」	幼児教育アドバイザー 霧ヶ丘幼稚園 園長 淵 和子 幼児教育センター 指導主事等	持参物 研修ノート、 名札、QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレット、 絵本1冊 事前課題 絵本を選んだ理由を考えておく。 ※後日連絡。	幼児が絵本の世界に浸る体験ができるようにするために、絵本の魅力や幼児に絵本の読み聞かせをする意義、絵本を選ぶ際の観点、読み聞かせの留意点等を学びます。演習を通して絵本の読み聞かせの実践力を高めます。
3	6月4日(水) 15:00～17:00 (教育センター) 研修No.106R1	特別支援教育 - 幼児教育における特別支援教育の在り方 - ○ 講話と協議、質疑応答 「幼児教育における 特別支援教育の在り方」	特別支援教育相談センター 指導主事 早期支援コーディネーター	持参物 研修ノート、 名札、QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレット	特別支援教育や早期支援の目的や意義、発達障害等の特性に対する支援の在り方、保護者や専門機関との連携についての理解を深めます。北九州市が行っている早期相談事業について知識を得ます。
4	7月24日(木) 7月25日(金) 9:00～12:00 (第1緑地保育センターおひさまのいえ) 研修No.106S2	安全指導 - 野外活動における安全確保の在り方 - ○ 講話と演習 「野外活動における安全確保の在り方」	第1緑地保育センター (おひさまのいえ) 所長・所員	持参物 詳細は後日連絡。 ※事前課題は後日連絡。	自然に対する知識や野外活動等の計画の立て方、野外活動における安全確保の在り方や事故防止のための留意点を学びます。レクリエーション指導の実験を経験することで、野外活動や集団宿泊活動等の指導に生かすことができます。
5	7月24日(木) 7月25日(金) 13:30～17:00 (玄海青年の家) 研修No.106B4	人間関係 - 信頼関係を築くゲームの体験 - ○ 演習 「信頼関係を築くゲームの体験」 表現 - 教育活動に生かす表現活動 - ○ 講話と演習 「教育活動に生かす表現活動」	玄海青年の家 所員 幼児教育センター 指導主事等	持参物 詳細は後日連絡。	【人間関係】 ゲームの体験を通して、協力して活動する喜びを体験し、幼児と信頼関係を築く指導のポイントや教育活動における指導の在り方について学びます。

					【表現】 表現活動を体験し、子どもの感性を豊かにするための表現活動を教育活動に生かしていく指導の在り方について学びます。
6	参観実習のため 日程未定 11月を予定 (聖ヶ丘幼稚園) 研修No.106EI	保育の参観 - 多様な体験活動を重視した教育活動の推進 - ○ 講話 「本園の幼稚園教育について」 ○ 保育参観 「多様な体験活動を重視した教育活動の実際」 ○ 協議と指導助言 「多様な体験活動を重視した教育活動における教師の役割」	聖ヶ丘幼稚園 園長・園実践者 幼児教育アドバイザー 幼児教育センター 指導主事等	※聖ヶ丘幼稚園には公共交通機関を利用して来園すること 持参物 研修ノート、 名札、上靴、 外靴を入れる袋、バイナリー、QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレット	多様な体験活動を重視した教育活動における教師の役割や環境の構成について実際の保育場面を見て学び、今後の教育実践に生かすヒントを得ます。
7	2月13日(金) 15:00~17:00 (教育センター) 研修No.106DI	発達・評価 - 幼児の発達の理解と保育の評価・改善 - ○ 講話と意見交流 「幼児の発達の理解と保育の評価・改善」	幼児教育センター 指導主事等	持参物 研修ノート (受講した全研修について記入し、事前に園長の押印をもらう)、 QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレット、事前課題ワークシート 事前課題 ※事前課題は後日連絡。	幼児の成長の様子を確かに見とる観点やその幼児の発達の特性を理解した保育の在り方について学びます。日々の保育の振り返りや評価の仕方等、教育活動の評価の基本を理解し、今後の教育活動につなげます。 1年間の研修のまとめを通して、自身の成長と課題をつかみます。

<受講について>

- ◆ 初回の研修までに、「研修ノート」、「研修参考資料」を教育センターのホームページからダウンロードし、冊子を作成します（「教育センターHP」⇒「幼稚園研修」⇒「新採幼稚園教諭研修資料」）。
- ◆ 北九州市私立幼稚園連盟と連携して実施している研修です。研修に関するお知らせ等は、「北九州市私立幼稚園連盟ウェブサイトの会員情報掲示板」（FYSK 会員ページ）、サイボウズの掲示板を確認してください。
- ◆ 7【発達・評価】の研修では、「受講した研修の全ての振り返り欄への記入」と「園長の押印とコメント」がある新採幼稚園教諭研修ノートを持参してください。
- ◆ 毎回の研修で必ず持参するのは、名札、研修ノート、QRコードを読み取ることができるスマートフォンやタブレットです。名札は所属園名と氏名が分かるものです。園で使用しているもので構いません。無い場合は作成してください。

研修を受講して

1	基礎的素養 - 幼児教育の基本 教師の援助と役割 - 人権教育 - 幼児教育における人権教育の在り方 -	研修日	月 日 曜日
学んだ ことや 自己の 課題等			
		園長先生のコメント	園長印
研修を受 けて実践 したことや その成果			
2	言葉 - 絵本の世界に浸る体験を重視した絵本の読み聞かせ -	研修日	月 日 曜日
学んだ ことや 自己の 課題等			
		園長先生のコメント	園長印
研修を受 けて実践 したことや その成果			
3	特別支援教育 - 幼児教育における特別支援教育の在り方 -	研修日	月 日 曜日
学んだ ことや 自己の 課題等			
		園長先生のコメント	園長印
研修を受 けて実践 したことや その成果			

4	安全指導 - 野外活動における安全確保の在り方 -	研修日	月	日	曜日
学んだ ことや 自己の 課題等					
		園長先生のコメント	園長印		
研修を受 けて実践 したことや その成果					
5	人間関係 - 信頼関係を築くゲームの体験 - 表現 - 教育活動に生かす表現活動 -	研修日	月	日	曜日
学んだ ことや 自己の 課題等					
		園長先生のコメント	園長印		
研修を受 けて実践 したことや その成果					
6	保育の参観 - 多様な体験活動を重視した教育活動の推進 -	研修日	月	日	曜日
学んだ ことや 自己の 課題等					
		園長先生のコメント	園長印		
研修を受 けて実践 したことや その成果					

7	発達・評価 - 幼児の発達の理解と保育の評価・改善 -	研修日	月 日 曜日
学んだ ことや 自己の 課題等			
		園長先生のコメント	園長印
研修を受 けて実践 したことや その成果			

～印象に残ったこと、大切にしたいこと～

研修や所属園での実践、先輩教員や同期の仲間との交流、書籍や資料などを通して、
見たこと、聞いたこと、気付いたこと、考えたこと、ご指導いただいたことを記録に残しましょう。

学級経営案

令和7年度（ ）園（ ）保育（ ）組学級経営案

園長名		担任名	
幼児数	歳児 男児 名 女児 名		計 名
本 園 の 教 育 目 標		本園の目指す幼児像	
年 度 当 初 に 記 入	学級の幼児の実態		幼児の変容のとりえ
	学級経営の目標		一年間の学級経営の反省・評価
	目標を達成するための具体的な取組		
園長 所見			

※ 学級経営案を作成しましょう。日々の教育活動の指針として生かしましょう。

幼稚園讃歌

鹿島鳴秋 作詞
山本雅之 作曲

しーきをいろどるはなばなはー

さーいてにおうよおさなごにー

のーびるわかめをかぎりなくー

とわにはーぐくむわれらのつとめあ

あーおいなるはえあるみちーよー

全国々公立幼稚園長会
日本私立幼稚園連合会

幼稚園讃歌

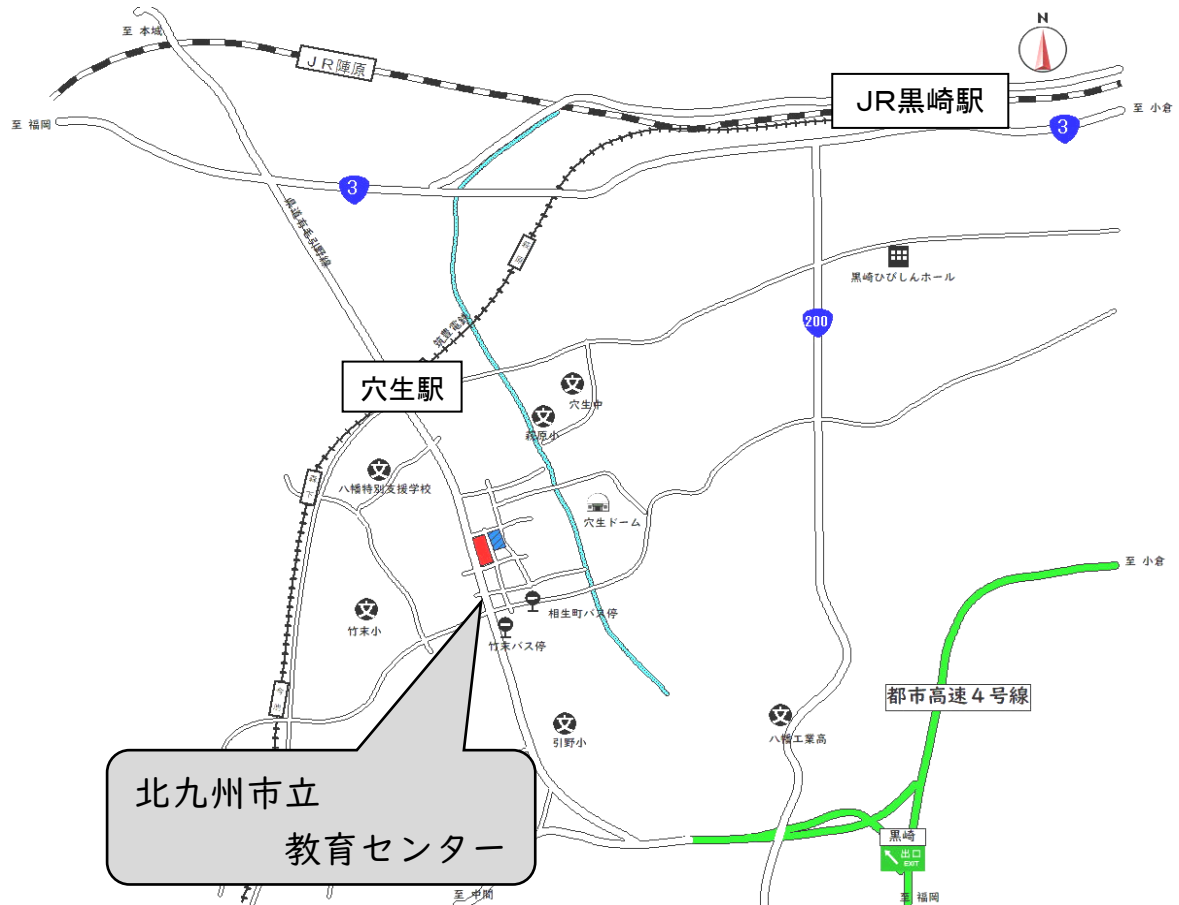
作詞 鹿島鳴秋
作曲 山本雅之

1 四季を彩る 花ばなは
咲いて匂うよ おさな子に
伸びる若芽を 限りなく
永遠に育くむ われらのつとめ
ああ 大いなる
栄えある道よ

2 遠い海路の 果てまでも
歌はひびくよ おさな子の
胸に希望の 手をつなぎ
ひとりひとりが 夢みる瞳
ああ 尊くも
栄えある子らよ

3 空はかがやく 陽の光
夢も匂うよ おさな子に
みなの手を持つ 花ばなの
開くあしたを よろこび祈る
ああ 栄えあるは
われらのつとめ

教育センターへのアクセス



公共交通機関利用

- J R 黒崎駅下車
- 西鉄黒崎バスセンター3番乗り場で82番系統に乗車
「相生町」バス停で下車、徒歩約5分
 - 黒崎駅バスターミナルで57番系統に乗車
「相生町」バス停で下車、徒歩約5分
 - J R 黒崎駅西側隣接の筑豊電鉄「黒崎駅」で乗車
「穴生駅」で下車、徒歩約10分

※ 教育センター周辺の全ての道路、近隣の商業施設等の駐車場は
全て駐車禁止です。



北九州市立教育センター

KITAKYUSHU MUNICIPAL EDUCATION CENTER

〒806-0044 北九州市八幡西区相生町 20 番 1 号

TEL (093) 641-1775 FAX (093) 641-1833

URL <http://www.kita9.ed.jp/educctr/>

所属園

氏 名
